

2024年7月12日

山口県・光市と「電気自動車を活用したまちづくりに関する包括連携協定」を締結

SMAS（住友三井オートサービス株式会社、本社：東京都新宿区 社長：佐藤 計）は、山口県光市と日産自動車株式会社、山口日産自動車株式会社との4者により「電気自動車（EV）を活用したまちづくりに関する包括連携協定」を締結しました。

4者は、EVの積極的な活用により脱炭素社会を推進し、環境・防災対策等、本協定締結に基づくさまざまな取り組みを行います。今後も脱炭素社会の実現、ゼロ・エミッション社会の先にある、美しい自然環境の保全、クリーンで住みやすい持続可能なまちづくりに向けて共創していきます。

1. 協定締結の背景

光市は、未来に向けたまちづくりとSDGsを一体的に推進しています。「自然敬愛都市宣言」、「安全・安心都市宣言」のまちとして、地球環境に負荷の少ないライフスタイルの普及や、市民、事業者、行政が連携した環境保全活動等を推進、省エネ設備やEVの普及促進など地球温暖化に配慮したまちづくりとともに、多発・激甚化する災害への備えを強化し、災害に強い都市づくりを進めています。このほか、持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークの構築など、市だけでは解決が困難な地域課題に対し、企業各社とのパートナーシップのもと取り組んでいます。

日産自動車は、これまで培ってきたEVに関するノウハウやネットワークを生かし、エネルギーマネジメント、サーキュラーエコノミー、サステナブルツーリズム、地域交通、次世代教育を通じ、脱炭素化、強靱化（災害対策）の実現により、社会変革を促す、日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」を国内の販売会社と共に推進しています。EVの普及によるゼロ・エミッション社会構築を目指し、SDGsの達成や地域社会の発展に貢献するため、全国の自治体・企業の皆さまと活動しています。

SMASは、クルマ社会の発展と地球環境の向上に貢献するべく、目指す姿として「サステナブルな社会に向けたモビリティプラットフォーム」を掲げています。ヒト・モノの移動に関わるあらゆるニーズにお応えする「総合モビリティサービス」を通じて、サステナブルな未来を創造していきます。

今般、EVを活用した脱炭素化と災害に強いまちづくりに向けて各社がお互いの取り組みに賛同し、本協定の締結に至りました。



2. 連携協定の項目と取り組み内容

協 定 項 目	具体的取り組み例
(1)EV の普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公用車の EV 促進に向けた車両管理の DX 化による台数最適化の調査・研究 ・ 脱炭素化実現に向けた市民への EV 普及促進
(2)環境啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ EV を活用した環境啓発活動を通じて、市民の環境意識向上を目指す ・ 環境啓発における各社の環境教育コンテンツの提供
(3) EV を活用した災害・防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練や防災訓練における EV の活用 ・ 発災時に市及び販売会社が保有する EV を避難所等の非常用電源として活用
(4)交通課題対策への EV 活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民互助による移動支援サービス車両の EV 化
(5)その他、必要と認める事項	



【本件に関するお問い合わせ】

住友三井オートサービス株式会社 (URL : <https://www.smauto.co.jp/>)

担当 : 広報部 白濱・蟹藤

電話 : 03-5358-6669

e-mail : okyakusama@smauto.co.jp

